



平成27年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年12月9日

上場会社名 株式会社きんえい 上場取引所 東
 コード番号 9636 URL http://www.kin-ei.co.jp
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)丸山 隆司
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)好井 裕一 (TEL) (06) 6632-4553
 四半期報告書提出予定日 平成26年12月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第3四半期の業績(平成26年2月1日～平成26年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第3四半期	2,500	3.5	117	30.5	130	64.3	68	53.3
26年1月期第3四半期	2,416	4.5	89	—	79	—	44	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第3四半期	24 42	—
26年1月期第3四半期	15 93	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年1月期第3四半期	4,795	1,687	35.2
26年1月期	5,169	1,647	31.9

(参考) 自己資本 27年1月期第3四半期 1,687百万円 26年1月期 1,647百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	0 00	—	10 00	10 00
27年1月期	—	0 00	—		
27年1月期(予想)				10 00	10 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年1月期の業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	△0.5	120	8.4	130	32.1	60	14.0	21 50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年1月期3Q	2,821,000株	26年1月期	2,821,000株
② 期末自己株式数	27年1月期3Q	30,904株	26年1月期	30,848株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年1月期3Q	2,790,122株	26年1月期3Q	2,790,454株

当社は、平成25年6月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。発行済株式数（普通株式）は、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたものと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、消費増税後の反動減の影響が長引いたことから、政府は来年に予定していた、消費税の増税を延期するなど、先行き不透明な状況で推移しました。

この間当社におきましては、事業全般に亘って顧客視点に立ったサービスの提供に努めるとともに、部門別業績管理の徹底化を精力的に推進し、集客と収入の確保に努めました。

各セグメントの状況は次のとおりであります。

シネマ・アミューズメント事業部門におきましては、劇場事業では全国興行収入歴代3位となった“アナと雪の女王”をはじめ“STAND BY ME ドラえもん”“マレフィセント”“るろうに剣心 京都大火編”“るろうに剣心 伝説の最期編”“名探偵コナン”“テルマエ・ロマエⅡ”“アメイジング・スパイダーマン2”“永遠の0”“GODZILLA ゴジラ”などの話題作品を上映するとともに、引き続き「アポロシネマメンバーズ」の会員獲得による販売促進活動を積極的に推し進めたことにより、遊戯場部門を含めたこの部門全体の収入合計は、1,217,035千円（前年同期比16.3%増）となり、営業原価控除後では31,878千円のセグメント利益（前年同期は23,173千円のセグメント損失）となりました。

不動産事業におきましては、ビル入居率の維持・向上を図るため、空室部分への後継テナント誘致に注力いたしましたが、ルシアスビル事務所フロアにおいて大型テナントの退去があったことなどから、駐車場収入等ビル付帯事業並びにその他の事業を含めたこのセグメント全体の収入合計は、1,283,291千円（前年同期比6.3%減）となり、セグメント利益につきましても、296,125千円（前年同期比11.4%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高合計は、2,500,326千円（前年同期比3.5%増）となり、費用の面におきましても全社において諸経費全般に亘って鋭意削減に努めました結果、営業利益は117,391千円（前年同期比30.5%増）となり、経常利益は130,019千円（前年同期比64.3%増）、四半期純利益は68,124千円（前年同期比53.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、短期貸付金の減少等により前期末に比較して374,217千円減少し、4,795,530千円となりました。

負債は、借入金の返済等により、前期末に比較して414,256千円減少し、3,107,912千円となりました。

また、純資産は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したため、前期末に比較して40,038千円増加し、1,687,618千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年1月期の業績予想につきましては、平成26年9月8日に「平成27年1月期第2四半期決算短信（非連結）」にて公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年1月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	78,152	60,590
売掛金	92,364	82,368
商品	3,458	3,561
その他	514,209	234,005
貸倒引当金	△150	-
流動資産合計	688,035	380,525
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,262,825	2,164,128
機械及び装置(純額)	66,969	64,221
工具、器具及び備品(純額)	71,171	72,144
土地	1,123,748	1,123,748
有形固定資産合計	3,524,714	3,424,242
無形固定資産	61,592	52,064
投資その他の資産		
差入保証金	859,555	892,132
その他	35,849	46,564
投資その他の資産合計	895,405	938,696
固定資産合計	4,481,712	4,415,004
資産合計	5,169,748	4,795,530
負債の部		
流動負債		
買掛金	100,983	87,231
短期借入金	-	150,000
1年内返済予定の長期借入金	378,920	381,920
未払法人税等	66,254	36,035
賞与引当金	10,100	26,000
その他	465,867	366,815
流動負債合計	1,022,125	1,048,003
固定負債		
長期借入金	388,500	6,580
退職給付引当金	71,206	69,533
受入保証金	1,653,736	1,609,801
資産除去債務	275,713	278,850
その他	110,887	95,144
固定負債合計	2,500,043	2,059,908
負債合計	3,522,168	3,107,912

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年1月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,200	564,200
資本剰余金	24,155	24,155
利益剰余金	1,162,750	1,202,973
自己株式	△105,908	△106,058
株主資本合計	1,645,197	1,685,270
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,381	2,347
評価・換算差額等合計	2,381	2,347
純資産合計	1,647,579	1,687,618
負債純資産合計	5,169,748	4,795,530

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)
売上高	2,416,265	2,500,326
営業原価	2,105,129	2,172,322
営業総利益	311,135	328,003
一般管理費	221,201	210,611
営業利益	89,934	117,391
営業外収益		
受取利息	1,458	1,671
受取配当金	91	121
受取和解金	-	15,287
違約金収入	900	2,649
雑収入	1,048	1,422
営業外収益合計	3,498	21,152
営業外費用		
支払利息	12,344	8,515
雑支出	1,960	9
営業外費用合計	14,304	8,525
経常利益	79,128	130,019
特別損失		
固定資産除却損	3,047	17,554
特別損失合計	3,047	17,554
税引前四半期純利益	76,080	112,464
法人税、住民税及び事業税	64,000	70,000
法人税等調整額	△32,371	△25,659
法人税等合計	31,628	44,340
四半期純利益	44,452	68,124

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 平成25年2月1日 至 平成25年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,046,365	1,369,899	2,416,265	—	2,416,265
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,046,365	1,369,899	2,416,265	—	2,416,265
セグメント利益又は損失(△)	△23,173	334,309	311,135	△221,201	89,934

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自 平成26年2月1日 至 平成26年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,217,035	1,283,291	2,500,326	—	2,500,326
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,217,035	1,283,291	2,500,326	—	2,500,326
セグメント利益又は損失(△)	31,878	296,125	328,003	△210,611	117,391

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。